

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	私立保育所整備補助事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	子ども家庭課			
施策	4-1	安心して子どもが健やかに生まれ育つ環境づくり		主管課長	熊井 彰			
					01	03	02	01
							05	51

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	保育所に子どもを預けたい（預けている）保護者	意図	保育所入所待機児童を解消するとともに、安心して子どもを保育所に預けられるようにする。
事業内容	社会福祉法人等が整備する保育所に対し、建設費の一部を補助する事業である。			
事業開始から現在までの状況変化	保育需要の高まりから待機児童が発生する状況が続いている。毎年新たな施設を整備し、定員増を図っているが、新たな保育需要が発生しており、定員数を一層増加させることが急務となっていることから、国県補助金を活用した補助を実施している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	待機児童数	68	49	146	人	↓↓↓	
②	園児の定員増数	626	330	669	人	↑↑↑		
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 平成28年度は、小規模保育事業所の施設整備により37名の定員増、認可保育所の施設整備により669名の定員増を図ったが、待機児童の解消に到らなかった。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		793,793,000	298,127,400	847,489,840				
事業費(b)(円)		786,192,000	289,091,400	839,251,840				
うち一般財源		109,069,000	44,426,400	115,482,840				
職員給与費(c)(円)		7,601,000	9,036,000	8,238,000				
人役・職員(人)		1.10	1.20	1.20				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
				コストの削減	A 削減の余地はない	
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	本市の保育需要は、増加しており、待機児童解消のために、計画的に保育所整備を進めていく。	③取組の課題	保育所用地の確保が難しくなってきたことから、借家方式の保育所設置を進める必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	国は、今後も保育需要は増加を続けていくと推計している。本市の保育需要も増加を続けていくと推計しており、保育所整備は今後も必要と考えている。	④今後の改善計画	国の制度改革を的確に従え、国有地の活用を図り、保育所整備を推進していく